



平成20年10月27日

各 位

会 社 名 第一工業製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大柳 雅利
 (コード番号 4461 東証・大証各第一部)
 問合せ先 専務取締役 坂本 隆司
 (TEL 075-323-5955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年8月11日に公表した平成21年3月期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,200	230	150	△ 20	△ 0.51
今回修正予想(B)	26,300	450	360	80	2.05
増減額(B-A)	△ 900	220	210	100	—
増減率(%)	△ 3.3	95.7	140.0	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	23,738	265	67	617	15.81

2. 平成21年3月期 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期個別累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,000	△ 160	△ 150	△ 130	△ 3.33
今回修正予想(B)	21,100	30	10	△ 70	△ 1.79
増減額(B-A)	△ 900	190	160	60	—
増減率(%)	△ 4.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	19,807	△ 16	△ 79	515	13.19

3. 修正の理由

個別の第2四半期累計期間の業績予想については、売上高は前回予想を下回る見込みです。しかしながら、営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、株価の下落に伴い投資有価証券評価損の計上を余儀なくされますが、本年第1四半期から適用となりました企業会計基準第9号「棚卸資産の評価に関する会計基準」による棚卸資産の簿価切り下げ額が減少し、新製品の売上拡大や価格転嫁及び人件費を含む総経費の削減などに努めました結果、前回予想を大幅に上回る見込みとなりました。

連結の業績予想については、売上高は前回予想を下回る見込みです。しかしながら、関係会社の業績向上や個別の業績回復に伴い、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前回予想を大幅に上回る見込みとなりました。

通期の見通しにつきましては、米国のサブプライム住宅ローン問題に端を発する金融危機により、世界経済の減速が鮮明となりました。また、ドル安、株安及び原油、ナフサ価格の動向など不透明な要因も数多く抱えており、今後も厳しい経済環境が続くものと予想されることから、平成20年8月11日に公表しました通期の予想につきましては、個別、連結とも据え置くことといたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上